

細江カトリック教会だより 7月

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294 ☎083-222-0970

広島教区テーマ：平和の使徒となろう

チャレンジ新しい福音宣教 ～わたしをお使ってください～

—家庭へのチャレンジ—

梅雨と教会との関係 (!)

今年も梅雨の時期に入ってから大雨と嵐の日々が続いています。毎年5月から7月にかけて天気が不安定になる日々が多くなり、私たちの日常生活にもその影響がみられます。実は私の出身の南インドでも6月の初めから8月の終わりまで梅雨の時期に入ります。大雨と嵐が続くこの3か月間を乗り越えるのは大変ですが、梅雨のせいでもっとも困るのは漁業をやっている人々です。ほぼ毎日海が荒れていて、海に出るのは危険ですが、毎日の糧を得るために他に方法がなく船を出す人々もいます。ときと場合によって命がけとなるこの作業の中で彼らの唯一のよりどころは神様への信頼と信仰だけです。

神様はすべての危険から自分たちを守ってくださる、という彼らの信仰こそは彼らの力でもあります。言い換えれば、船に自分たちとともに神様も一緒にいてくださる、というのは彼らの信仰の基本となるものでしょう。聖書箇所で言えば、イエスは嵐を静め、恐れていた弟子たちを力付ける（マルコ4章、マタイ8章）場面があります。この船と嵐の話はこの世に生きる私たち一人ひとりの人生と深く結びつくものであり、何よりもそこで働く神様の恵みを表す話でもあります。



しかしこの船と船が立ち向かう嵐の話には、私たちの個人的な生き方とその中に起こる様々な混乱といった次元を超える、もっと広い意味もあります。「船」は昔から教会のシンボルとして使われてきました。たとえば「ノア方舟」はある意味で普遍的な教会を意味するものである、と教えられてきた時代もありました。この物語の歴史的な事実よりも大事なのは、この物語が伝えようとしているメッセージです。方舟によって大雨と洪水からすべての生き物が救われたように、教会を通して働く神様の恵みによって人類は救われるという信仰がその基本となる原理でした。

この世におけるすべての嵐や混乱から人々を守る船として、言い換えれば教会を救いの船として描いているのです。現代も教会は人々の救いの使命をもって世を旅しています。しかしいつの時代にもあったように、旅

の途中で教会が様々な嵐に立ち向かったのは現実です。かつては迫害や分裂といった嵐が多かったが、教会はこれらの嵐を乗り越えてこの2000年も歩んできました。それは福音の中で述べているように、イエスがこの教会という船の中で弟子たちとともにいて、いつも守っていたからです。

現代では教会はかつてよりも強い嵐に立ち向かっています。たとえば命の尊厳や家族の尊さなどの教会の教えに対して、安楽

死や中絶や同性愛結婚などを支持する声は最近多くなり、一般に認められるようになってきています。現代において教会が立ち向かう一番大きい嵐は、人間の命や家族の絆がおかれている危険な状況であると言えるでしょう。現代のこの嵐を教会がどのように乗り越えるかは、私たち一人ひとりがこのような話題に対してどの立場をとるか、によるでしょう。

しかしイエスがこの教会という船の船長であるかぎり、私たちには希望があります。弟子たちのように私たちもイエスに助けを求めるように心がけましょう。

ボニー 神父



シリーズ 地区だより

家庭へのチャレンジ Ⅲ 新地筋川地区

『教会と家庭』

私は五島で幼児洗礼を受け、妻は結婚と同時に洗礼を授かりこの細江カトリック教会で約40年間お世話になっております。

今、私は休暇で下船し毎日のミサに与らせていただいております。23歳で結婚し、妻は仏教の熱心な家庭で育ちましたが、すんなりと細江カトリック教会の信者となることを受け入れてくれました。その時、カトリックの教えを指導していただきましたのが昨年東京に行かれましたリントホルスト神父様でした。本日、私どもがあるのはこの神父様の教えのたまものであると感謝いたしております。

カトリック信者であるからりっぱな生き

方をしているとは限りません。若い頃は、僕が一言いうと妻からは十言かえり、「教会にいつも行って神様の教えを学んでいるのだから、もう少し僕に優しくしてくれないか」と幾度となく頼んだものです。

結婚して早40年お互いに歳をとり、最近では随分と優しくなったような気がします。それとも僕の慣れでしょうか？きっとそれは神様のお導きのおかげだと信じます。

毎月、妻は久留米にいる息子のところへ身の回りの世話のために行っておりましたが、その息子も親許より巣立とうとしている様子。いよいよこれからは二人っきりの生活が始まります。神様に助けられて私たちのできることを継続させていただきたいと思いません。

大水 紀



洗礼式

6月7日(日)

☆ ミカエル

カスタンエーダ エンジェル 采(つかさ) ちゃん

洗礼おめでとう！！

あなたとあなたの周りのすべての人々が平和と希望に満ちた日々でありますように・・・祈ります！



＊ ご両親からのメッセージ ＊

Thank you for the prayers and for being present at my son's holy baptism. May the Lord Bless you all.

(息子の洗礼を見守り、お祈りくださりありがとうございます。皆さまに神様の祝福が豊かにありますように。)

カスタニエーダ エンジェル

私たち夫婦の2人目の子どもの洗礼を授かることができ、大変嬉しく思っております。これからも、聖家族として気持ちを新たに、神様からの贈り物である2人の子どもたちと共に神様に信頼し、学び、神様に向かって歩いていけるよう、努力していきたいと思えます。

カスタニエーダ 靖代

「この指とまれ」の活動報告

松本 三枝子

「この指とまれ」の活動が始まって、いつの間にか五年目に突入していました。

手芸の好きな人たちが集まって一緒に手仕事をしながら、「楽しく集える居場所づくり」と、そこから「ささやかでも何らかの社会貢献ができたらいいな」との思いから出発したグループです。

現在は、7名のメンバーがいます。活動開始時からずっと続けているメンバーです。原則、月2回(第1・第3木曜日、9:30~15:00)、教会センター2階に集まっています。

昨年までは、1年間の作品作りのテーマを決めて取り組み、クリスマス・チャリティーコンサートに共催、作品の販売コーナーを設け、その売り上げを寄付させていただきました。作品のクリスマス・グッズを「今年も楽しみにして来た」と購入して下さる方も多く、励まされたり、勇気を頂

いたりしました。

活動開始当初、2年間は教会下の公園で、地域の方々との交流を目的にフリーマーケットを年1回行いました。これも楽しい思い出です。

また、百瀬神父さまが、幼稚園や日曜学校の子供たちに、聖書のお話をなさるためのエプロン・シアター用に、登場する人物や動物たちを「作ってほしい」と、注文してくださいました。その作品がエプロン・シアターに登場するのを見るのは、ワクワク楽しいことです。

木曜日の活動は、先ず、祈りとマザーテレサの「私をおつかいください」の歌で始まります。終わりも、感謝の祈りと歌で締めくくります。

作品作りの内容については、メンバー各自が興味のある作品を提案し合ったり、作り方を教え合ったりしながら、楽しく手仕事をしています。現在は、「刺し子」に取り組んでいたり、クリスマス・ツリー作りをしているメンバーもいて、それぞれが自由に取り組んでいます。

手仕事をしながら、信仰についての話を遠慮なく語り合えること、また、今社会で起こっていること、あるいはテレビ番組の話題など、会話も楽しく盛り上がり、仲間としての交流が深まっています。お互いにいい刺激を受け合っています。そのおかげでしょうか、メンバー全員「ここに来るのが楽しい!!」と実感しています。

手仕事の好きな方、あるいは興味がある方、参加なさいませんか。

一度覗いてみてください。お待ちしております。



7月の典礼と行事

- ☆ 3日(金) 19:00 財務委員会
- ☆ 4日(土) 10:30
キリスト教入門講座
- ☆ 6日(月) 19:00
サビエル上陸記念碑委員会
- ☆ 7日(火) 19:30 信徒の神学
- ☆ 11日(土) 10:00
山口にて信徒の神学
- ☆ 12日(日) 船員の日
9:00 宣教司牧評議会
- ☆ 14日(火) 19:30 信徒の神学
- ☆ 18日(土)～19日(日)
社会教説宿泊研修会
- ☆ 19日(日) ミサ後 大掃除
- ☆ 31日(金) 聖イグナチオ祝日
- ☆ 31日(金)～8月7日(金)
上智大学 STP開催
(サマー・ティーチング・プログラム)

天使幼稚園便り

☆プール開き 6月23日(火)



*事故のないように願って、百瀬神父さま(園長)が祝別をする屋上プール。



*水しぶきをあげて楽しむ子どもたち。

☆ 園児の避難訓練 6月30日(火)



*けたたましいベルの音でいっせいに避難。



*園児たちは消防車を取り囲んで、一人ひとりがホースの重さを体感。

下関ブロック

2015年

日曜学校 サマーキャンプ

～ みんながひとつになるように ～



ゆるしあうことによって
いやされ
りかいしあうことによって
むすばれ
わかちあうことによって
つよめられますように・・・

7月24日(金) 10:00

～ 25日(土) 13:00

会場; 彦島カトリック教会

☆申込み〆切 7月19日(日)

各教会学校リーダーまで

細江カトリック教会ホームページ

新たに

ホームページができました。

<http://hosoechurch.sakura.ne.jp>